

令和7年度 専修大学大学院 商学研究科 修士課程 第Ⅰ期入学試験（一般・社会人・留学生）

令和6年10月5日（土）実施

科 目 名
英 語

受 験 番 号	氏 名

商学専攻 アカデミックコース

志願者がいなかった受験科目の過去問題は、公表していません。

令和 7 年度 専修大学大学院 商学研究科 修士課程 第Ⅱ期入学試験（一般入試）

令和 7 年 2 月 15 日（土）実施

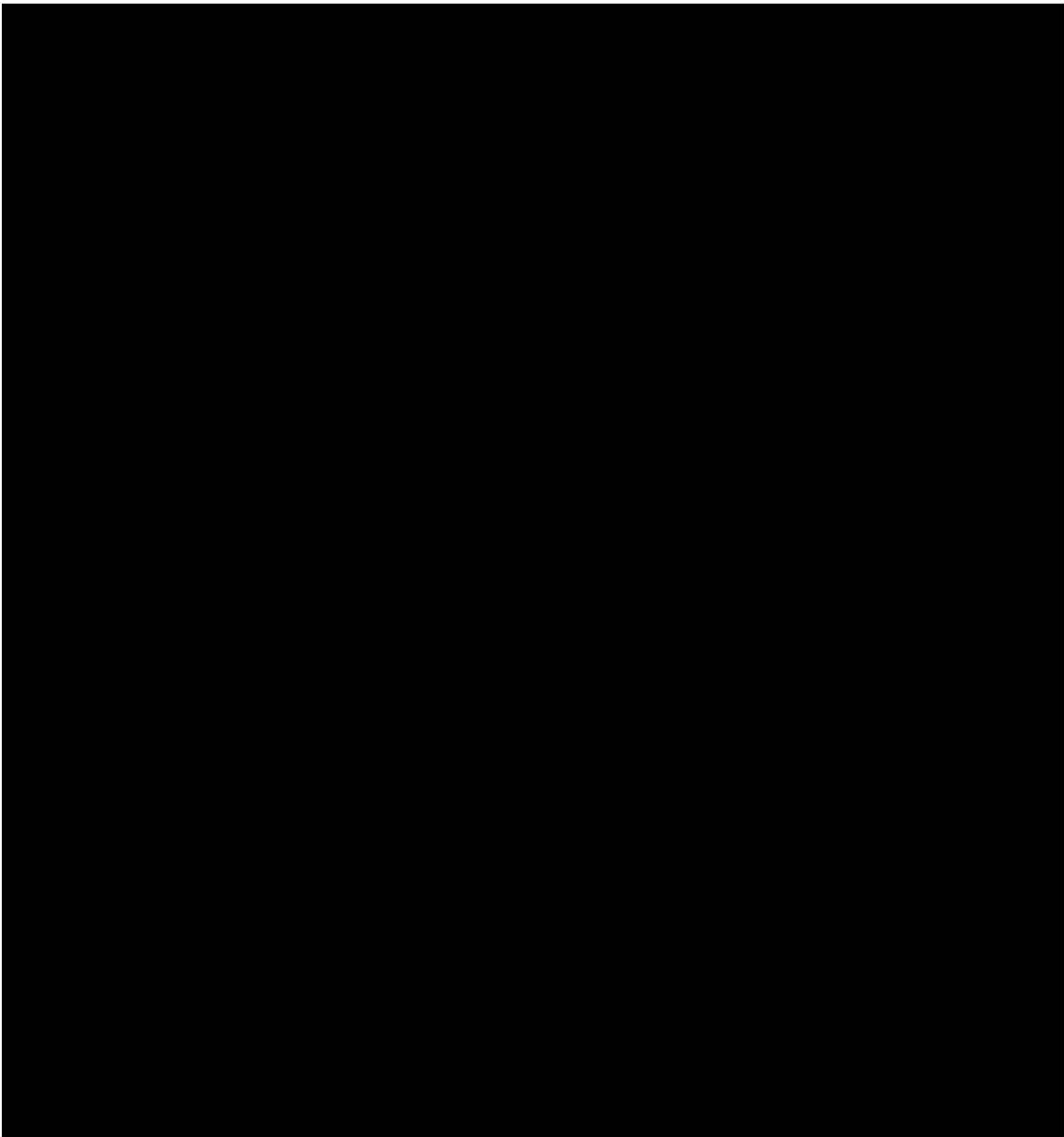
科 目 名
英 語

受 験 番 号	氏 名

商学専攻 アカデミックコース

【問題】

次の文章は日本の製造企業の文化についてのべたものである。読んで問題に答えなさい。



出典: Don Hellriegel, J.W. Slocum, R.W. Woodman, *Organizational Behavior fourth edition*, West Publishing Company, 1986 より引用)

- 問題 1 下線部を和訳しなさい。
- 問題 2 この文章では米国人の目から見た日本の製造企業における高品質の追求と生産性の高さの要因とその問題点を述べているが、それを 400 字程度で記述しなさい。

【解答は別紙解答用紙へ】

令和6年度 専修大学大学院 商学研究科 修士課程 第Ⅰ期入学試験（一般入試）

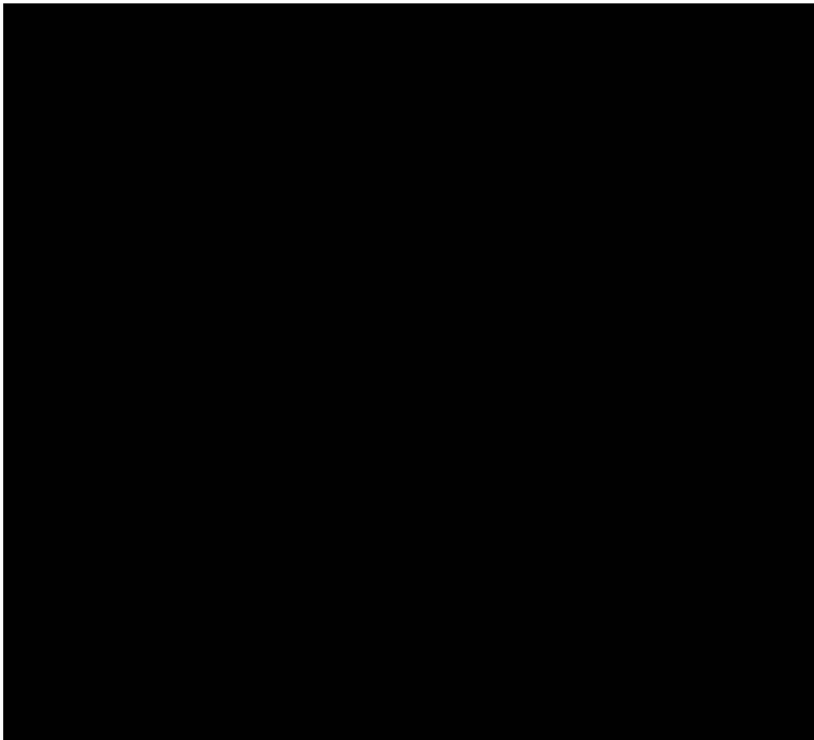
令和5年9月30日（土）実施

科 目 名
英 語

受験番号	氏 名

商学専攻 アカデミックコース

以下の英文を日本語に訳しなさい。【解答は別紙解答用紙へ】



出典："UNESCO watching as Venice grapples with over-tourism " Mainichi Japan (June 25, 2021) を一部改変

令和6年度 専修大学大学院 商学研究科 修士課程 第Ⅱ期入学試験 (一般・社会人・留学生)

令和 6 年 2 月 17 日 (土) 実施

科 目 名
英 語

受験番号	氏 名

商学専攻 アカデミックコース

志願者がいなかった受験科目の過去問題は、公表していません。

採 点	
--------	--

令和3年10月2日(土)実施

科 目 名
英 語
*問題A・Bどちらかを選択して解答すること。

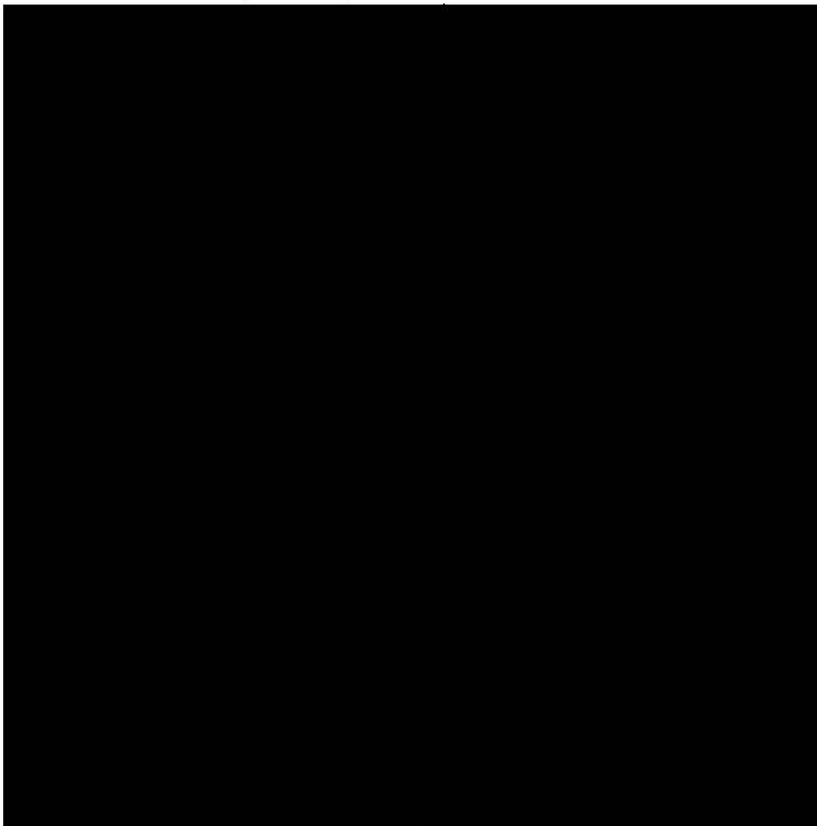
受験番号	氏 名

商学専攻 アカデミックコース

2-1

【問題A】

次の文章はマネジャー(管理職)の業務について述べたものである。全文を読んだうえで以下の問いに答えなさい。



出典: Rosemary Stewart, "managers and their jobs", Pan Books Ltd, London, 1970 を一部修正

設問

1. 下線部を和訳しなさい。
2. この文章によると優れたマネジャー(管理職)は何をすべきであるのか。
100字程度で説明しなさい。

【解答は別紙解答用紙へ】

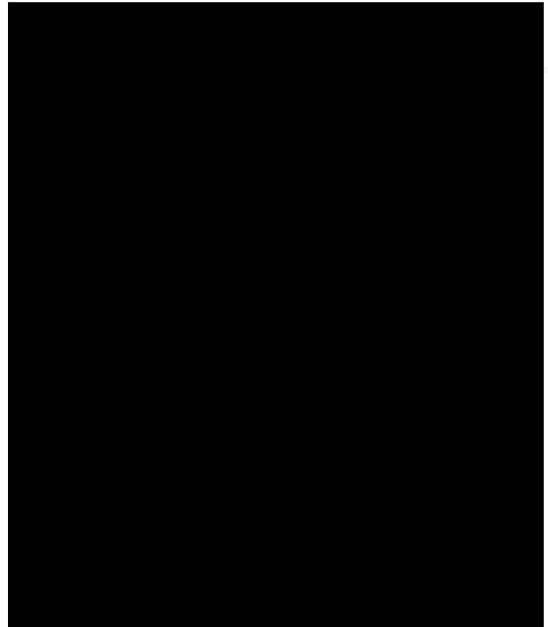
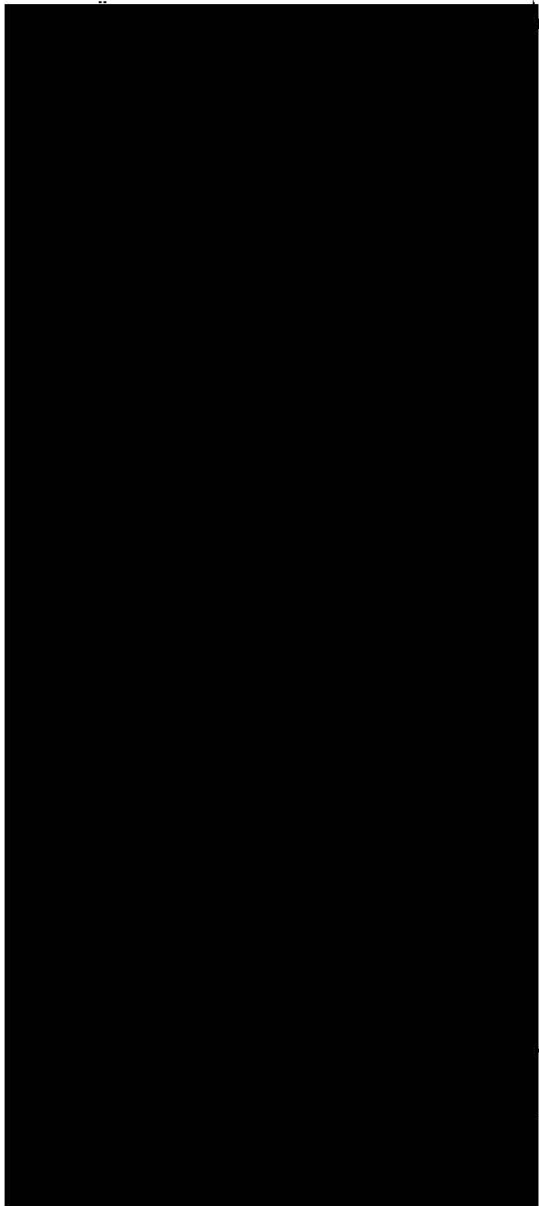
科目名
英語
*問題A・Bどちらかを選択して解答すること。

受験番号	氏名

2-2

商学専攻 アカデミックコース

【問題B】 以下の英文を和訳しなさい。【解答は別紙解答用紙へ】



出典: Krugman, Paul and Robin Wells. *Economics*, 8th edition, p.220.

令和4年度 専修大学大学院 商学研究科 修士課程 第Ⅱ期 入学試験 (一般入試)

令和4年2月19日(土)実施

科目名
英語
*問題A・Bどちらかを選択して解答すること。

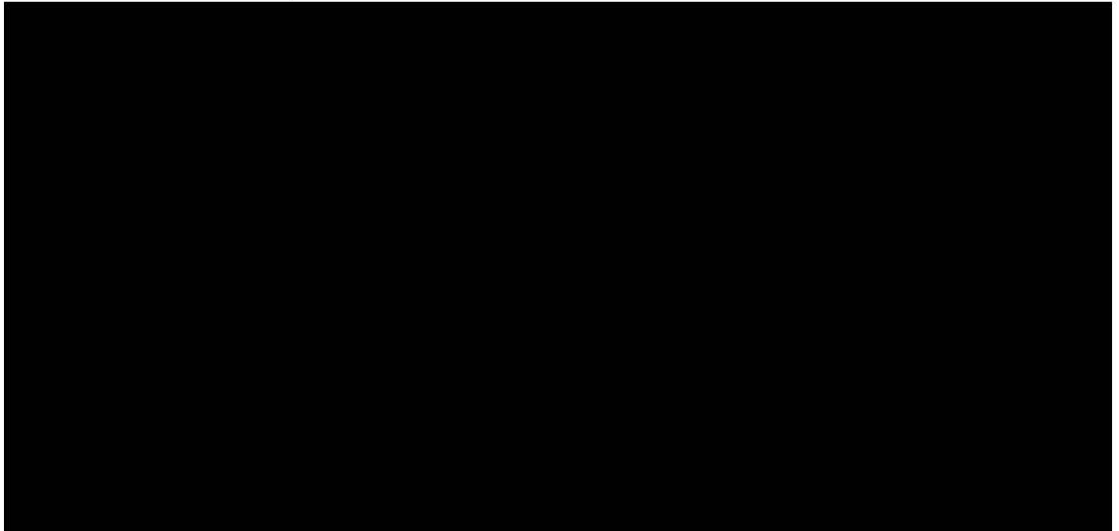
受験番号	氏名

2-1

商学専攻 アカデミックコース

【問題A】

英文和訳：以下を翻訳しなさい。【解答は別紙解答用紙へ】



出典：The Economist (08/27/2015), Marketing in the digital age: A brand new game より抜粋

令和4年2月19日（土）実施

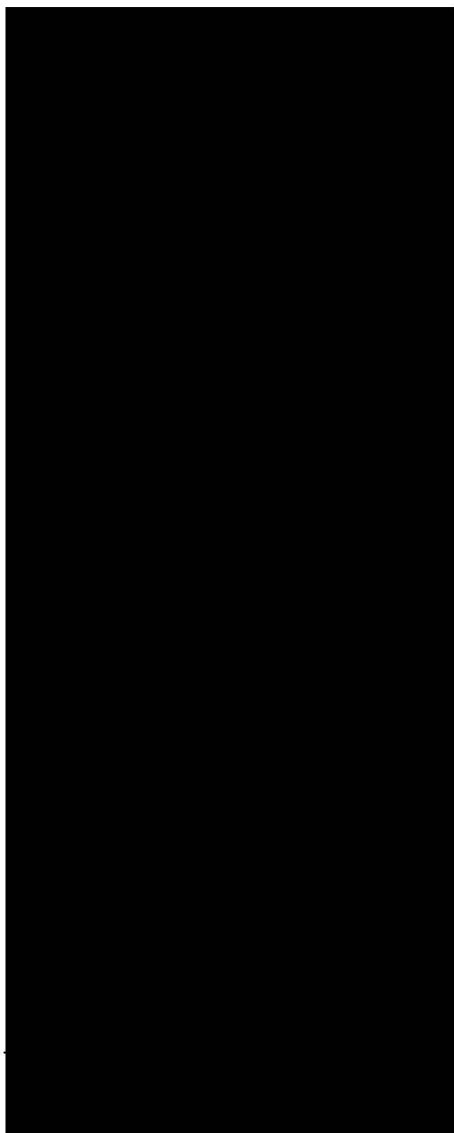
科 目 名
英 語
*問題A・Bどちらかを選択して解答すること。

受験番号	氏 名

商学専攻 アカデミックコース

2-2

【問題B】 以下の英文を日本語に訳しなさい。【解答は別紙解答用紙へ】



出典：Nancy F. Koenig (ed.), *The Story of American Business—From The Pages of The New York Times*,
Harvard Business Press, Boston, Massachusetts, 2009, pp.370-371.

令和 8 年度 専修大学大学院 商学研究科 修士課程 第 I 期入学試験 (一般・社会人・留学生)

令和 7 年 10 月 4 日 (土) 実施

科 目 名
商 業 学

受 験 番 号	氏 名

商学専攻

次の問題 A・B のどちらかを選んで、解答しなさい。

なお、それぞれの問題にしたがって別紙解答用紙に解答しなさい。

【問題 A】 次の 2 題のうち、1 題を選択して解答しなさい。
なお、解答のはじめに選択した番号を明記すること。

- ① 地球環境問題への対応の観点から、リニアエコノミー（直線経済）からサーキュラーエコノミー（循環経済）への転換の必要性が指摘されていますが、生産、流通、消費にかかわるサプライチェーンにおいて、サーキュラーエコノミーへの転換はどのように進められており、どのような点が課題となっていますか。できるだけ具体的に説明してください。
- ② 近年、小売業によるメーカー、卸売業者など仕入れ先への商品発注が、AI を活用した需要予測に基づいて行われることが増えています。こうした AI を活用した需要予測は、どのような考え方や仕組みで行われ、どのような課題があるか、特定の業種・業態・商品分野の事例をあげて、できるだけ具体的に説明してください。

【問題 B】 次の 2 題のうち、1 題を選択して解答しなさい。
なお、解答のはじめに選択した番号を明記すること。

- ① 「サステナブル消費」について説明しなさい。その上で、課題および社会に対する影響について、具体的な例を挙げて説明しなさい。
- ② 「解釈レベル理論」について説明しなさい。その上で、解釈レベル理論について現実の事例を 3 つあげ、それぞれ説明しなさい。

専修大学大学院 商学研究科 入学試験解答用紙 (修士課程 一般・社会人・留学生入試)

令和 7 年 10 月 4 日 (土) 実施

科 目 名
商 業 学

受 験 番 号	氏 名

商学専攻

(-) ← 選択した問題の記号と番号を記入すること。 例 (A-①)

裏面を使用する場合は、こちら側を上にして解答すること

採 点	
--------	--

科 目 名
商 業 学

受 験 番 号	氏 名

商学専攻

次の問題A・Bのどちらかを選んで、解答しなさい。
なお、それぞれの問題にしたがって別紙解答用紙に解答しなさい。

【問題 A】

次の2題のうち、1題を選択して回答しなさい。
なお、解答のはじめに選択した番号を明記すること。

- ① 近年、健康志向を背景に、高度なバイオテクノロジーを用いた保健機能食品（サプリメント）が多数販売されている。こうした商品の普及にともない、健康は自分で管理（主体的に努力）するものから、市場で購入し消費する（手軽に金で買える）ものへと変容しつつある。こうした「健康の商品化」を展開する食品メーカーのマーケティングについて、その功罪を述べなさい。
- ② テーマパークは、様々な施設やイベントをとおして「夢の世界」を演出している。但し、それは、所定の費用（入場料+交通宿泊費など）を支払うことのできる者のみが見られる「夢」、即ち「購買力によって裏付けられた夢」である。「お金で買える夢」の存在意義と、その夢にも「格差（購買力の差）」があることについて、レジャー企業のマーケティングが果たす役割を踏まえて論じなさい。

【問題 B】

次の2題のうち、1題を選択して回答しなさい。
なお、解答のはじめに選択した番号を明記すること。

- ① 制御焦点理論について説明しなさい。その上で、マーケティング領域における本理論の有用性について、事例を挙げて説明しなさい。
- ② 消費者の購買意思決定プロセスについて、具体的な事例を挙げて説明しなさい。

専修大学大学院 商学研究科 入学試験解答用紙 (修士課程 一般・社会人・留学生入試)

令和 8 年 2 月 21 日 (土) 実施

科 目 名
商 業 学

受 験 番 号	氏 名

商学専攻

(ー) ← 選択した問題の記号と番号を記入すること。 例 (A-①)

裏面を使用する場合は、こちら側を上にして解答すること

採 点	
--------	--

令和6年10月5日(土)実施

科 目 名
商 業 学

受 験 番 号	氏 名

商学専攻

次の問題A・Bのどちらかを選んで、解答しなさい。

なお、それぞれの問題にしたがって別紙解答用紙に解答しなさい。

【問題 A】 次の2題のうち、1題を選択して解答しなさい。
 なお、解答のはじめに選択した番号を明記すること。

- ① 小売業の中でも、実店舗（リアル店舗）を主体とする小売業態の業績は、比較的好調な業態と停滞・低迷している業態に分化している。そこで、(1)比較的好調な小売業態と(2)停滞・低迷している小売業態を1つずつとりあげ、それぞれについて SWOT 分析を行い、両者の今後の方向について展望しなさい。
- ② GAFAMに代表されるデジタルプラットフォーマーのビジネスモデルをエコシステムと呼ぶことがある。(1)なぜそれらをエコシステムと呼ぶのか、(2)プラットフォームに参加する事業者にとってのメリット、デメリット、(3)一般消費者にとってのメリット、デメリットについて論じなさい。

【問題 B】

ソーシャル・マーケティングの事例をひとつだけ挙げ、

1. 背景
 2. マーケティングの目標（ミッション）
 3. セグメンテーション、ターゲティング（社会的、心理的要因）、ポジショニング
 4. マーケティングミックス（プロダクト、プライス、プレイス、プロモーション）
 5. マーケティングの成果（社会的な効果）
- について述べなさい。

令和 7 年度 専修大学大学院 商学研究科 修士課程 第Ⅱ期入学試験（一般・社会人・留学生）

令和 7 年 2 月 15 日（土）実施

科 目 名
商 業 学

受 験 番 号	氏 名

商学専攻

次の問題 A・B のどちらかを選んで、解答しなさい。

なお、それぞれの問題にしたがって別紙解答用紙に解答しなさい。

【問題 A】

次の2題のうち、1題を選択して解答しなさい。なお、解答のはじめに選択した番号を明記すること。

- ① 「エシカル消費」について説明した上で、その課題や社会に対する影響について、具体的な例を挙げて説明しなさい。
- ② 「準拠集団」について説明し、準拠集団の機能について、具体的な例を挙げて説明しなさい。

【問題 B】

次の2題のうち、1題を選択して解答しなさい。

1. 流通における「延期・投機」について説明し、それぞれのメリットとデメリットをあげなさい。
2. VMS(垂直的マーケティング・システム)における3つのタイプについて、それぞれのシステムに参加するチャネル・メンバーの行動の違いが明確になるように説明しなさい。

令和6年度 専修大学大学院 商学研究科 修士課程 第I期入学試験 (一般・社会人・留学生)

令和5年9月30日(土)実施

科 目 名
商 業 学

受 験 番 号	氏 名

商学専攻

次の問題A・Bのどちらかを選んで、解答しなさい。

なお、それぞれの問題にしたがって別紙解答用紙に解答しなさい。

【問題 A】

大量生産、大量販売、大量廃棄の現代社会において、マーケティングは本当に社会の役に立っていると考えられるのか、その功罪について、自身の意見を述べなさい。

【問題 B】 次の2題のうち、1題を選択して解答しなさい。

なお、解答のはじめに選択した問題の番号を明記して下さい。

①流通チャネルのタイプの例として、クロスチャネルとマルチチャネルがある。

まず、クロスチャネルとマルチチャネルの違いを示して下さい。

次に、企業が、流通チャネルをクロスチャネルからマルチチャネルに変更した場合の効果と課題を示して下さい。

②まず、プルウィップ効果について説明して下さい。

次に、プルウィップ効果の影響を3つ示して下さい。

最後に、プルウィップ効果の3つの影響ごとに対策を示して下さい。

令和6年2月17日(土)実施

科 目 名
商 業 学

受験番号	氏 名

商学専攻

次の問題A・Bのどちらかを選んで、解答しなさい。

なお、それぞれの問題にしたがって別紙解答用紙に解答しなさい。

【問題 A】

次の設問のうち、1題を選択して解答しなさい。なお、解答のはじめに解答する番号を明記しなさい。

1. 記憶は、情報やイベントを脳において記録し、保存し、再生する能力であり、消費者の購買意思決定における役割を担っている。また記憶は、一時的に数個程度の限定された情報を保持する「短期記憶」と、情報の保持期間がより長く、潜在的に一生に亘って保持される「長期記憶」に区分される。長期記憶には3つのタイプがあるとされるが、これらを全て上げ、説明しなさい。
2. マーケティング研究では、これまで長い間、「サービス」と「製品」は区別して研究されてきた。そこで製品との違いを意識した上でのサービスの特性を4つあげ、それぞれについて製品にはない特徴を中心に説明しなさい。

【問題 B】

次の2題のうち、1題を選択して解答しなさい。

なお、解答のはじめに選択した問題の番号を明記すること。

1. 商業学において商業者の役割を説明する考え方として、取引数単純化の原理(総取引数極小化の原理)が知られている。この原理が働けば最終的に商業者は1人だけの独占状態になるはずなのに、現実にはそうならない理由を多角的に考察しなさい。

2. ウーバー・テクノロジーズのような配車サービスを提供する企業では、一定区間、例えば専修大学神田キャンパスから東京駅までの区間の運賃はAIによって決定され、同じ会社の配車サービスでは同一料金になる。こうした点について競争政策の観点から問題ありとする主張がなされている。

この運賃設定は、従来からのカルテル(不当な取引制限)とどのような点で一致し、また相違するのかを指摘したうえで、こうしたサービスの提供は競争政策の観点からどのように考えられるのか述べなさい。

令和 8 年度 専修大学大学院 商学研究科 修士課程 第 I 期入学試験 (一般・社会人・留学生)

令和 7 年 10 月 4 日 (土) 実施

科 目 名
経 営 学

受 験 番 号	氏 名

商学専攻

次の問題 A・B のどちらかを選んで、解答しなさい。

なお、それぞれの問題にしたがって別紙解答用紙に解答しなさい。

【問題 A】

以下の設問に、すべて解答しなさい。

設問 1. 「ニッチトップ戦略」の内容について、ニッチトップ戦略を取っている実在の企業 1 社を例に挙げて、説明しなさい。

設問 2. 「ニッチトップ戦略」は、中小企業に適した戦略であるといわれているが、その理由を説明しなさい。

【問題 B】 日本では 1990 年代からコーポレート・ガバナンスの議論が盛んになり、さまざまな改革が実行されてきた。具体的には、肥大化した取締役会のスリム化が進展し、①執行役員制度が導入された。また②社外取締役が積極的に登用されるようになり、③取締役会の多様性を推進すべきだとされた。さらに機関設計に関しては、④監査役会設置会社、指名委員会等設置会社、監査等委員会設置会社が選択できるようになった。

1. 下線部①について、執行役員制度は、1997 年にソニーが初めて導入してその後普及したものであるが、この制度の仕組みとその意義について説明しなさい。
2. 下線部②について、社外取締役を登用することの意義と課題について説明しなさい。
3. 下線部③について、取締役会の多様性に関していまだ不十分だとされている点は何か説明しなさい。
4. 下線部④について、3 つの統治機構の中、監査等委員会設置会社がその数を増やしてきており、2025 年にはトヨタ自動車がこの統治機構への移行を決めた。こうした動きの理由とその背景を説明しなさい。

専修大学大学院 商学研究科 入学試験解答用紙 (修士課程 一般・社会人・留学生入試)

令和 7 年 10 月 4 日 (土) 実施

科 目 名
経 営 学

受 験 番 号	氏 名

商学専攻

() ← 選択した問題の記号を記入すること。

裏面を使用する場合は、こちら側を上にして解答すること

採 点	
--------	--

科 目 名
経 営 学

受 験 番 号	氏 名

商学専攻

次の問題 A・B のどちらかを選んで、解答しなさい。

なお、それぞれの問題にしたがって別紙解答用紙に解答しなさい。

【問題 A】

日本は 50 カ国以上の国々と自由貿易協定 (FTA) を署名・発効させており、FTA カバー率は 8 割を超えるとされる。ただし、企業が実際に FTA を利用しているかは別の問題で、大企業の 7 割以上が利用しているのに対し、中小企業は 6 割未満の利用率に留まっている。このことに関連して以下の設問に答えなさい。

① 大企業に比べ中小企業の FTA 利用率が低い理由として、どのようなことが考えられるか、説明しなさい。

② 輸出の際、FTA を利用していない日本企業が FTA を利用するようになると輸入者側にはどのようなメリットがあるか説明しなさい。

③ 2022 年に発効した地域的な包括的経済連携 (RCEP) 協定は、日本にとっては韓国、中国との初めての FTA となる。日本の貿易および対外直接投資に、RCEP はどのような影響をもたらすか説明しなさい。

【問題 B】

近年、国際企業は世界規模で市場を開拓する一方で、技術革新の加速や顧客ニーズの多様化、競争環境の変化に直面している。このような状況下では、単に海外市場へ進出するだけでなく、企業が保有する強みを明確化し、それを国際展開の中で効果的に活用・強化することが重要となる。とりわけ、模倣されにくい中核的な能力 (コア・コンピタンス) を基盤として、製品・サービス、組織能力、価値提案を結びつけながら競争優位を構築することが求められる。以上を踏まえ、以下の 3 問に答えなさい。

① コア・コンピタンスとは何かを説明したうえで、国際企業が競争優位を確立する際に、なぜコア・コンピタンスの特定と活用が重要となるのか、具体例を挙げて説明しなさい。

② 国際企業が海外市場で事業を拡大する際、コア・コンピタンスを活用して標準化を進める場合と、進出先市場の要請に応じて能力を再構成 (調整) する場合がある。両者の違いを整理し、コア・コンピタンスが国際展開の中でどのように維持・変化しうるか、具体例を挙げて論じなさい。

③ コア・コンピタンスに基づく競争優位は永続的とは限らず、技術変化や制度環境の変化により陳腐化する可能性がある。国際企業がコア・コンピタンスを持続的に強化するために必要な取り組みを述べ、企業が直面しうる課題についても、具体例を挙げて説明しなさい。

専修大学大学院 商学研究科 入学試験解答用紙 (修士課程 一般・社会人・留学生入試)

令和 8 年 2 月 2 1 日 (土) 実施

科 目 名
経 営 学

受 験 番 号	氏 名

商学専攻

() ← 選択した問題の記号を記入すること。

裏面を使用する場合は、こちら側を上にして解答すること

採 点	
--------	--

科 目 名
経 営 学

受 験 番 号	氏 名

商学専攻

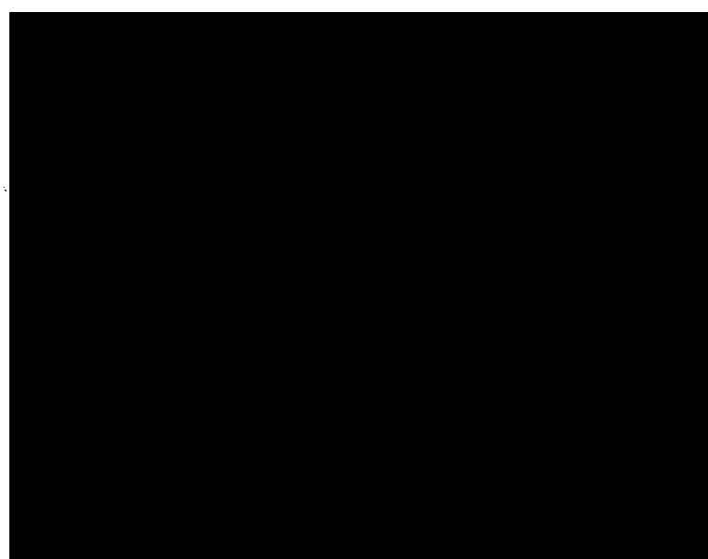
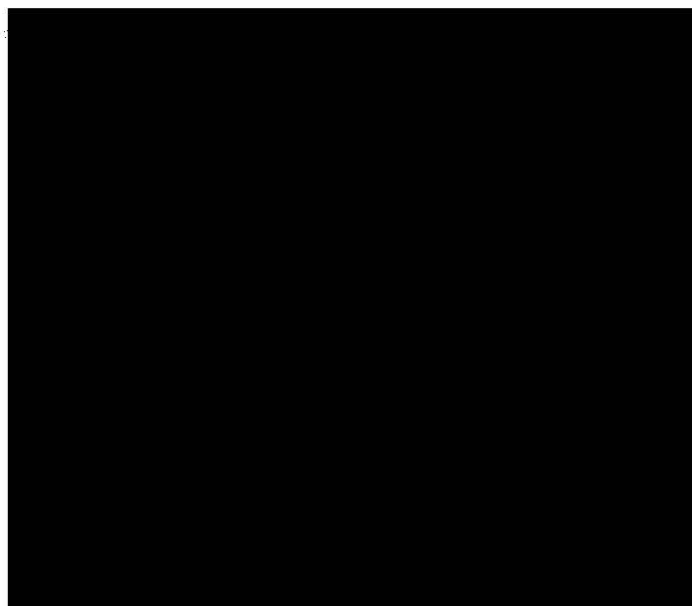
2-1

次の問題A・Bのどちらかを選んで、解答しなさい。

なお、それぞれの問題にしたがって別紙解答用紙に解答しなさい。

【問題 A】

設問1. 下記の2つの図表を見て、中小企業の事業承継について、現在、どのような変化が起こっているか、考察しなさい。



(出典：中小企業庁編(2024)『2024年版中小企業白書』I-108、I-109)

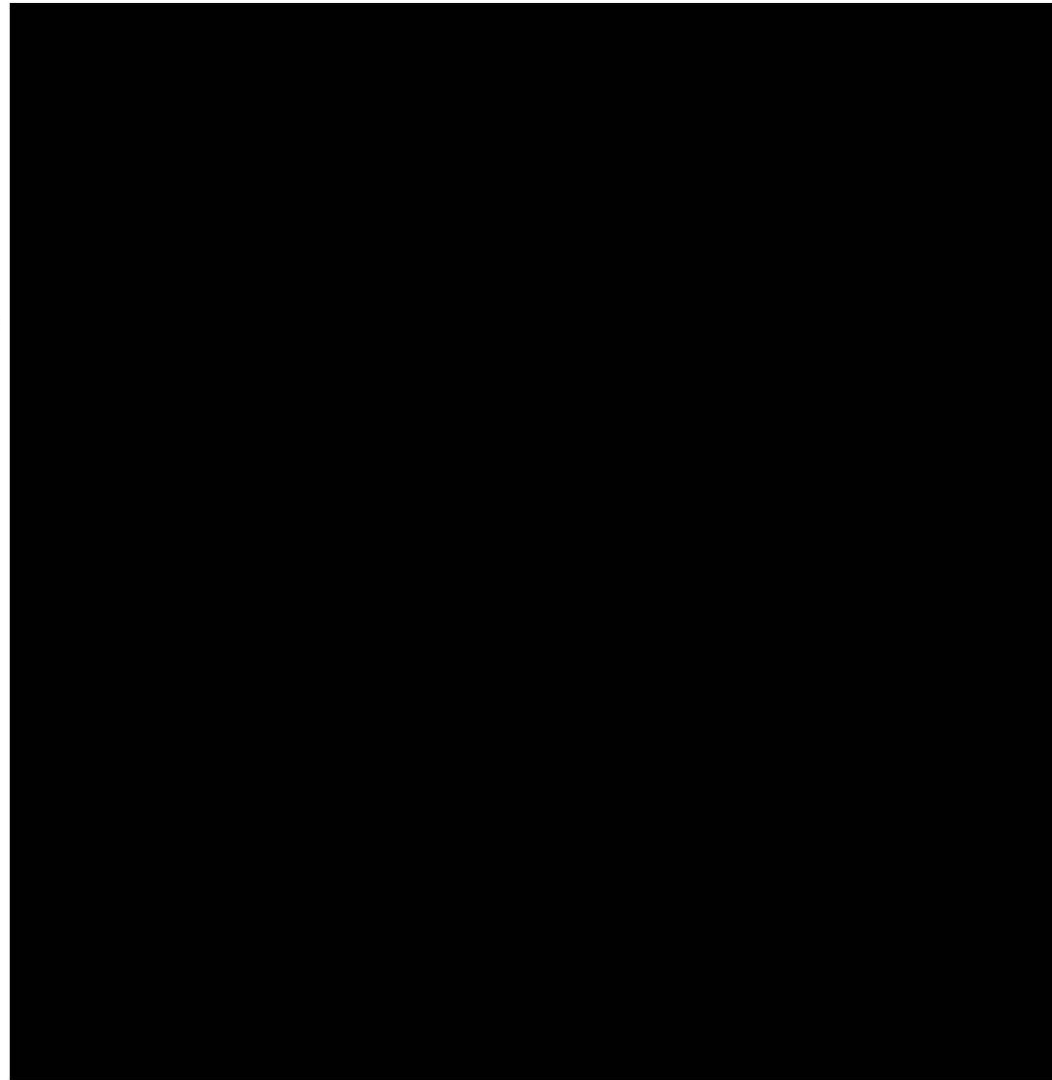
設問2. 中小企業における事業承継の方法の一つとして、近年、M&A(合併・買収)の活用が増加しているが、株式を上場していない中小企業のM&Aにおいて、どのような事項が問題となっているか、説明しなさい。

科 目 名
経 営 学

受 験 番 号	氏 名

【問題 B】

近年の日本の労働をめぐる以下の新聞記事に関連して、以下の問いに答えなさい。



(出所：日本経済新聞 2023年8月25日)

- ① 下線部①について、ストライキの説明を含め、日本の労働基準法に定める3つの労働者の権利について説明しなさい。
- ② 下線部②について、そごう・西武の労働組合が、そごう・西武親会社のセブン&アイHDの経営判断を不服として、そごう・西武に対してこのようなストライキを行うことの是非について論じなさい。
- ③ 下線部③について、日本で企業が事業を整理する場合の従業員の解雇に課されている条件(整理解雇の4要件)について知るところを記述しなさい。
- ④ 下線部④について、株主総会の役割について説明しなさい。また、臨時株主総会と定時株主総会との違いについて説明しなさい。
- ⑤ 下線部⑤について、日本で労働争議が減少している理由について知るところを記述しなさい。

令和7年度 専修大学大学院 商学研究科 修士課程 第Ⅱ期入学試験 (一般・社会人・留学生)

令和7年2月15日(土)実施

科 目 名
経 営 学

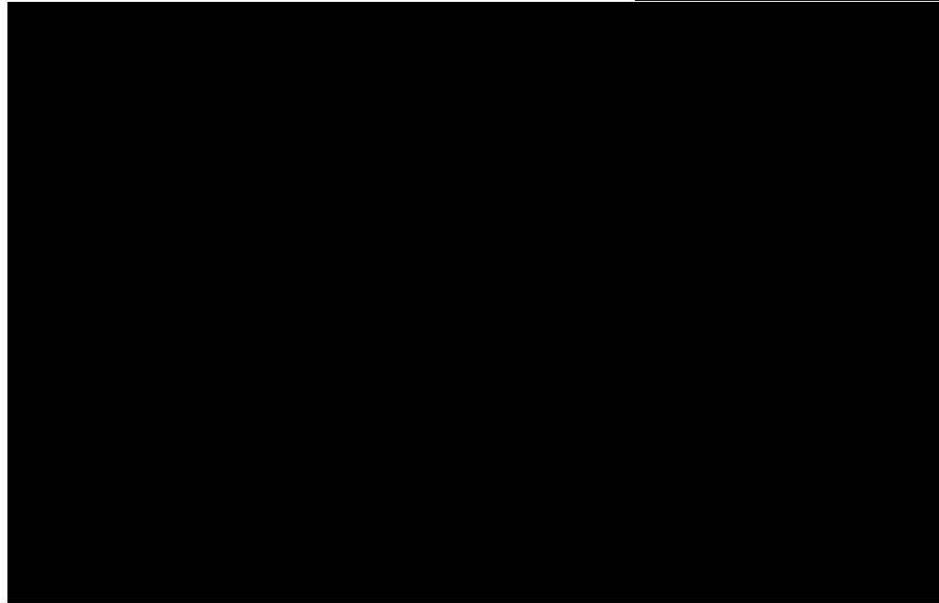
受 験 番 号	氏 名

商学専攻

次の問題A・Bのどちらかを選んで、解答しなさい。

なお、それぞれの問題にしたがって別紙解答用紙に解答しなさい。

【問題 A】 下記の図は上場会社の所有主体別持株比率の推移を示したものである。これに関連して、以下の問いに答えなさい。



出所：東京証券取引所「2023年度株式分布状況調査の調査結果について」

問1. この図からはわが国の株式所有構造の変容が見て取れる。

- ①株式所有構造はどのように変化したか。その特徴を述べなさい。
- ②株式所有構造の変化の背景は何か、説明しなさい。
- ③株式保有をめぐって、個別企業はどのような対応を迫られたか、説明しなさい。

問2. 株式所有構造の変化に伴い、わが国のコーポレートガバナンスはどのようになったか、説明しなさい。

【問題 B】

次の設問にすべて解答しなさい。

設問1. 近年の原材料やエネルギーコストの増加、労務費の上昇により、下請中小企業が発注元（親企業）にこれらのコスト上昇分の価格転嫁を求めざるを得なくなっている。令和3年12月に内閣官房、消費者庁、厚生労働省、経済産業省、国土交通省および公正取引委員会は、「パートナーシップによる価値創造のための転嫁円滑化施策パッケージ」を取りまとめ、価格転嫁対策を強化した。下請企業からコスト上昇に基づく取引価格の引き上げを求められた場合、この施策パッケージに基づき親企業の取るべき対応について、説明しなさい。

設問2. 上記設問1. の「親企業の取るべき対応」について、親会社がそれを実施しなかった場合、下請代金遅延等防止法における発注元企業のどのような「禁止事項」に該当するか、述べなさい。

令和6年度 専修大学大学院 商学研究科 修士課程 第Ⅰ期入学試験 (一般・社会人・留学生)

令和5年9月30日(土)実施

科 目 名
経 営 学

受 験 番 号	氏 名

商学専攻

志願者がいなかった受験科目の過去問題は、公表していません。

採
点

令和6年2月17日(土)実施

科 目 名
経 営 学

受験番号	氏 名

商学専攻

次の問題A・Bのどちらかを選んで、解答しなさい。

なお、それぞれの問題にしたがって別紙解答用紙に解答しなさい。

【問題 A】

日本の中小企業はほとんど、所有と経営とファミリーが一致または重複しているファミリービジネスである。このような中小企業の事業承継について、以下の各設問に解答しなさい。

1. 事業承継は、家族・親族間で行われることが多い。後継者が先代経営者の子供である場合、家族以外の従業員や社外の者が後継者になる場合と比較して、事業承継にプラスとなる点を2つ以上挙げて説明しなさい。
2. 後継者が先代経営者の子供である場合、家族以外の従業員や社外の者が後継者になる場合と比較して、逆に事業承継において課題になるのはどのような点か、2つ以上挙げて説明しなさい。

【問題 B】

近年、グローバル化の進展で、国境をこえた商品の販売活動が活発化している。インターネットや輸送手段の飛躍的な進歩や、貿易障壁の削減や撤廃に伴い、それぞれの国ごとに単独で存在していたローカル市場が統合され、巨大なグローバル市場が出現している。このようなグローバル市場の成長と拡大について、以下の3問に回答しなさい。

- ① 電子商取引やスマートフォンのアプリケーション、AI 技術等、科学技術の進歩は国境をこえた商品の販売活動にどのような影響を与えているのか。
- ② 欧米や日本、中国、韓国等アジアの多国籍企業から一社を選び、その企業のグローバル市場への進出を標準化及び現地化戦略から説明しなさい。
- ③ 国境をこえた商品の販売は、進出先の国や地域の消費者を取り巻く社会環境や消費者の価値観、規範等ニーズの違いを考慮する必要がある。具体例を一つ挙げて、グローバル市場で消費者のニーズを的確に把握し、商品を販売する戦略について説明しなさい。

令和 7 年度 専修大学大学院 商学研究科 修士課程 第 I 期入学試験（一般・社会人・留学生）

令和 6 年 1 0 月 5 日（土）実施

科 目 名
経 済 学

受 験 番 号	氏 名

商学専攻

志願者がいなかった受験科目の過去問題は、公表していません。

令和7年2月15日(土)実施

科 目 名
経 済 学

受 験 番 号	氏 名

商学専攻

次の問題A・Bのどちらかを選んで、解答しなさい。

なお、それぞれの問題にしたがって別紙解答用紙に解答しなさい。

【問題 A】ミクロ経済学

以下の問題1および問題2の両方を解答しなさい。

問題1

ある財の市場は、企業Aと企業Bの二企業によって支配されている。この市場の需要曲線を $d=32-p$ とし、この財の生産における各企業の費用関数を同一の $c_i=2x_i+5$ とする。 c_i は企業 i の総費用($i=A,B$)、 x_i は企業 i の生産量($i=A,B$)、 d は需要量、 p は価格を表わす。

- (1) クールノー均衡における企業Aと企業Bの生産量と利潤を求めなさい。
- (2) 企業Aが先導者、企業Bが追随者として行動するとき、シュタッケルベルグ均衡における企業Aと企業Bの生産量と利潤を求めなさい。
- (3) 企業Aと企業Bが共謀し、利潤の総和が最大となるように行動する場合の企業Aと企業Bの生産量と利潤を求めなさい。

問題2

貢献に応ずる分配と必要に応ずる分配という二つの原則にかなう立場として、ベンサム流の功利主義とロールズのマキシミン原則がある。両者の違いを明確にした上で、それぞれのアプローチの問題点について述べよ。

【問題 B】マクロ経済学

問題1.

いま2期間だけ生きる代表的な個人を考え、その生涯の効用関数 U が、

$$U = \ln c_1 + \rho \ln c_2$$

で与えられるとする。ここで c_1 と c_2 はそれぞれ1期と2期における消費水準を表しており、 ρ は代表的な個人の主観的割引因子である。なお、 $\ln$ は自然対数を示す記号である。1期と2期の所得をそれぞれ y_1 と y_2 として、1期目の貯蓄を2期目まで金融資産で運用した場合の利回り(収益率)を r とする。このとき、以下の問いに答えよ。

- (1) この代表的個人の生涯効用の最大化問題を考えると、この代表的個人が直面する予算制約を式で示せ。
- (2) この代表的個人が生涯効用を最大化するための一階条件を導出し、この条件が持つ経済学的な解釈を示しなさい。
- (3) この代表的個人が上記のような生涯効用 U を最大化しているとき、1期目の消費と2期目の消費の間にはどのような関係が成立するか、説明しなさい。

問題2.

日本是世界経済において小国であると仮定し、資本移動は自由であるとする。いま、アメリカなどの金融引き締めによって日本以外の世界的な金利水準が上昇すると、日本経済はどのような影響を受けると考えられるか、マンデルフレミング・モデルの枠組みを用いてIS曲線とLM曲線を使いながら図に描いて分析しなさい。なお、オーソドックスなマンデルフレミング・モデルで用いられている仮定や前提は特に説明せずに用いてよい。また、それ以外の追加の仮定や前提が必要な場合には、それを明記した上であれば用いても構わない。

科 目 名
経 済 学

受験番号	氏 名

商学専攻

次の問題A・Bのどちらかを選んで、解答しなさい。

なお、それぞれの問題にしたがって別紙解答用紙に解答しなさい。

【問題 A】 ミクロ経済学

以下の問題1および問題2の両方を解答しなさい。

問題1

完全競争市場におけるある企業の総費用関数を $TC = \frac{1}{3}(Q-1)^3 + \frac{4}{3}$ とする (ただし、 Q は生産量)。

- (1) 限界費用 MC を求めなさい。
- (2) 価格 P が4のときのこの企業の最適な生産量を求めなさい。
- (3) (2)のときの企業の利潤を求めなさい。

問題2

- (1) いわゆる囚人のジレンマ状態が実現するような 2×2 の標準型ゲームを表によって例示し、そのナッシュ均衡も示しなさい。
- (2) 純粋戦略におけるナッシュ均衡が複数存在するような 2×2 の標準型ゲームを表によって例示し、そのナッシュ均衡も示しなさい。

【問題 B】 マクロ経済学問題

1 から4まで、すべてに答えなさい。

アベノミクスのマクロ経済政策の成果を考えるにあたり、簡単化のため閉鎖経済を考え、線形で記述された“ISLMモデル”と“期待で修正されたフィリップス曲線”による、日本経済のマクロ経済均衡を考える。

実質 GDP を Y 、消費： C 、投資： I 、政府支出： G 、所得税： T 、マネーサプライ： MS 、潜在実質 GDP： Y_P 、インフレ率： π 、期待インフレ率： π^e とする。モデルの定式にあたって必要なパラメータ (係数) は、受験生が自分で定義しなさい。

1. 上記を前提に、ISLMモデルを定式化し、均衡 (Y, R) を計算しなさい。さらに (Y, R) 平面 (Y を横軸 R を縦軸) に ISLM を図示しなさい。

2. 上記を前提に、期待で修正されたフィリップス曲線を定式化しなさい。さらに (Y, π) 平面に図示しなさい。なお、期待で修正されたフィリップス曲線とは、今期のインフレ率と前期のインフレ率の差が、予想インフレ率と前期のインフレ率の乖離 (かい離) と現実の実質 GDP と潜在実質 GDP の差つまり需給ギャップの関数である。

3. いわゆるアベノミクス3本の矢の、第1の矢は未曾有の金融緩和政策であった。上記のモデルを前提として、アベノミクスによる金融緩和政策の前後の状態を、ISLM とフィリップス曲線の図に図示し、解説しなさい。

4. アベノミクスは2パーセントの物価上昇率を政策目標としていると言われているが、実現していない。上記のモデルを前提にすると、政策目標インフレ率が実現しない理由として、どのようなことを考えることができるか、ISLM とフィリップス曲線の図に図示し、解説しなさい。

科 目 名
経 済 学

受験番号	氏 名

商学専攻

次の問題A・Bのどちらかを選んで、解答しなさい。

なお、それぞれの問題にしたがって別紙解答用紙に解答しなさい。

【問題 A】ミクロ経済学

以下の問題1および問題2の両方を解答しなさい。

問題1 以下の〔 〕内に入る適切な数字を答えなさい。

解答用紙に問題項目番号を書き、その後に解答を記述すること。

たとえば、26 1,001 (問題項目が26で、解答が1,001の場合)。

ある財に対する市場全体の需要関数が $Q_d = -5p + 2,000$ であるとする。ただし、 p はその財の価格、 Q_d はその財の需要量である。また、この財の市場全体の供給曲線は、 $Q_s = 10p + 1,000$ であるとする。ただし、 Q_s はその財の供給量(生産量)である。

(1) この財の市場が完全競争状態にある場合、この財の均衡価格は〔 1 〕であり、均衡数量(生産量)は〔 2 〕である。その場合の消費者余剰は〔 3 〕であり、生産者余剰は〔 4 〕であるから、総余剰は〔 5 〕となる。

(2) この財の生産者が1社のみであり、その生産者が独占者として利潤最大化行動を採るとする。独占者が設定する価格は〔 6 〕であり、その生産量は〔 7 〕となる。その場合の消費者余剰は〔 8 〕であり、生産者余剰は〔 9 〕であるから、総余剰は〔 10 〕となる。

問題2

フランチャイズ制を採用し、地域単位でドミナント戦略を採用する大手コンビニチェーンがある。同一地域への大量出店は、フランチャイズ加盟店にとっては利益減少となるが、フランチャイズ本部にとっては利益増大となる。この現象の問題点をコモン・プロパティの外部性(コンビニ顧客をコモンプール財とみなしてよい)の観点から説明しなさい。

【問題 B】マクロ経済学

以下の問題1と問題2の両方を解答しなさい。

問題1

政府部門が存在しない以下の簡単な経済モデルを考える。

$$C = 0.2Y + 40, \quad I = 0.6Y - r, \quad L = 0.3Y - r, \quad M = 6000$$

このとき、 C :消費、 Y :GDP、 I :投資、 r :利子率、 L :実質貨幣需要量、 M :名目貨幣供給量となる。

- (1) IS 曲線、および、LM 曲線を求めよ。
- (2) P (物価水準) と Y の関係式を用いて、総需要曲線を求めよ。
- (3) 生産関数が $Y = 2\sqrt{N}$ で示されるとき、 $W=1$ の場合の総供給曲線を求めよ。このとき、 N :雇用量、 W :賃金率となる。
- (4) 均衡 GDP と均衡物価水準を求めよ。

問題2

IS・LMモデルの限界について述べよ。

科 目 名
経 済 学

受験番号	氏 名

商学専攻

2-1

次の問題A・Bのどちらかを選んで、解答しなさい。

なお、それぞれの問題にしたがって別紙解答用紙に解答しなさい。

【問題 A】 ミクロ経済学

以下の問題A1および問題A2の両方を解答しなさい。

問題A1 以下の〔 〕、【 】および《 》内に入る適切な数字もしくは語句を答えなさい。

ただし、〔 〕内には数字が、【 】内には語句が、《 》内には「,」で区切られた選択肢の一つが入る。

解答用紙に問題項目番号を書き、その後ろに解答を記述すること。たとえば、24 安倍内閣(問題項目が24の場合)。

ある財に対する国内市場全体の需要関数が $Q_d = -2.5p + 1,500$ であるとする。ただし、 p はその財の国内価格、 Q_d はその財の国内需要量である。

また、この財の国内市場全体の供給曲線は、つまり限界費用曲線は $MC = 0.1Q_s + 100$ であるとする。ただし、 Q_s はその財の国内供給量(生産量)である。なお、国内市場は生産者が無数に存在し、完全競争状態にあるとする。

- (1) この財の輸出入が禁止されている場合、この財の国内均衡価格は〔 1 〕であり、均衡数量(生産量)は〔 2 〕である。その場合の消費者余剰は〔 3 〕であり、生産者余剰は〔 4 〕であるから、総余剰は〔 5 〕となる。

また、各国内生産者が直面する需要曲線は《 6 : 右下がり, 右上がり, 横軸に平行, 縦軸に平行 》となる。

- (2) この財の輸入が解禁されたとしよう。この財の輸入価格は国内均衡価格〔 1 〕より2割安いとする。

なお、この財に関して、国内製品と輸入製品では質に差がないとする。

輸入解禁後、質に差がないため、国内均衡価格は輸入価格と一致する。つまり、価格は〔 7 〕となる。価格受容者である国内消費者の需要量は〔 8 〕であり、国内生産者の生産量は〔 9 〕となり、その差分は〔 10 〕となる。

- (3) 輸入解禁の結果、消費者余剰は〔 11 〕、生産者余剰は〔 12 〕となるため、総余剰は〔 13 〕となり、一国全体として余剰は《 14 : 不変である, 増加する, 減少する 》。

- (4) ここで、政府が輸入関税を課し、結果として、輸入価格は〔 1 〕より1割安い水準に変化したとする。輸入関税の結果、国内消費者の需要量は〔 15 〕となり、消費者余剰は〔 16 〕になる。一方、国内生産者の生産量は〔 17 〕、生産者余剰は〔 18 〕になる。総余剰は政府の関税収入を含めて〔 19 〕となり、関税導入前と比較すると、《 20 : 不変である, 増加する, 減少する 》

問題A2 昨今、新型コロナウイルス肺炎の流行が世界的に経済活動に影響を与えている。市民等の行動を制限する外出禁止などの公衆衛生上の措置の是非を市場の失敗の観点から論じなさい。

令和2年10月3日(土)実施

科 目 名
経 済 学

受験番号	氏 名

商学専攻

2-2

次の問題A・Bのどちらかを選んで、解答しなさい。

なお、それぞれの問題にしたがって別紙解答用紙に解答しなさい。

【問題 B】 マクロ経済学

[1]と[2]の両方に答えなさい。

[1]ある国の集計的生産関数は、コブ＝ダグラス型で、以下のように書くことができるとする。

$$Y = AK^{\alpha}H^{1-\alpha}$$

ただし、

$0 < \alpha < 1$ 、 Y =国内総生産、 A =技術水準、 K =物的資本ストック、 H =労働の総効率率単位 ($H = Lh$ 、 L =労働者数、 h =労働者の人的資本の平均値)

(B1-1) この集計的生産関数が一時同次であることを示し、その経済学的な意味を説明しなさい。

(B1-2) この集計的生産関数をGDPの水準である Y で示すのではなく、労働者1人当たりGDP (Y/L) で表すとどうなるか示しなさい。

さらに、すべての経済変数が共通通貨単位で表され、かつ α はすべての国で共通であると仮定する。そのうえで、労働者1人当たりGDPを「豊かさ」という経済パフォーマンスを示す指標として採用する。この時、世界の国々において豊かさの差(経済的格差)が存在する要因を1人当たりGDPで表された集計的生産関数を使って説明しなさい。

[2]マンデル＝フレミングモデル(小国・完全国際資本移動性を仮定)を前提として、以下の質問に答えなさい。

(B2-1) 変動為替レート下の財政金融政策の景気対策効果を図示して説明しなさい。

(B2-2) アベノミクスのマクロ経済政策(3本の矢)の第1の矢は金融政策、第2の矢は財政政策であった。アベノミクスの政策ミックスがマクロ雇用対策としてどのような効果を持つか、マクロの労働市場を図示して説明しなさい。

令和3年2月20日(土)実施

科 目 名
経 済 学

受験番号	氏 名

商学専攻

次の問題A・Bのどちらかを選んで、解答しなさい。

なお、それぞれの問題にしたがって別紙解答用紙に解答しなさい。

【問題 A】 ミクロ経済学

以下の問題1から問題3のすべてに答えなさい。

問題1

ある個人は今期の所得の60万円を今期と来期で消費し、この個人の効用関数は $U=C_1C_2$ とする。 U は効用水準、 C_1 は今期の消費額、 C_2 は来期の消費額である。今期の貯蓄に対する利子率が10%のとき、この個人の今期と来期の消費額を求めよ。

問題2

ある財の市場需要曲線を $d=50-p$ とする。 d は需要量、 p は価格を示す。該当財は企業Aと企業Bの二つの企業によって供給されている。企業Aと企業Bの費用曲線を $CA=XA^2$ 、 $CB=2XB^2$ とする。 CA 、 CB はそれぞれ企業A、Bの生産費用、 XA 、 XB はそれぞれ企業A、Bの生産量である。

- (1) 企業Aと企業Bの反応関数を求めよ。
- (2) 企業Aと企業Bの生産量、および、当該財の均衡価格を求めよ。

問題3

ジョン・ロールズは、すべての個人が公平な立場で協調して社会制度の選択を考えるとという社会契約説を参考に厚生原則を導こうとした。このロールズの厚生原則にもとづく、第一原則と第二原則について述べよ。

【問題 B】 マクロ経済学

以下の問題1と問題2の両方に答えなさい。

問題1

以下の閉鎖経済モデルを考える。

$$C=80+\frac{3}{5}Y_d, I=\frac{2}{5}Y-2r+18, G=42, T=\frac{1}{3}Y-5, M_s=82, M_d=118-9r \text{ とする。}$$

但し、 C :消費、 Y_d :可処分所得、 I :投資、 r :利子率、 T :税収、 G :政府支出、 M_s :貨幣供給量、 M_d :貨幣需要量となる。政府支出や物価水準を一定とし、貨幣供給量のみを変動させることにより、国民所得を25増大させるためには、貨幣供給量はいくらとする必要があるか。

問題2

(1) 以下の①と②のショックがマクロ経済均衡に及ぼす影響を総需要曲線と総供給曲線のグラフを使ってそれぞれ説明せよ。

- ①新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、緊急事態宣言が発令された。
- ②長期的に生産年齢人口は減少傾向にある。

(2) 現在日本のように、投資は一定で貯蓄が減少するならば、経常収支は赤字傾向となる。この現象を貯蓄・投資バランスの概念を使って説明せよ。